

# 第9 2期中間事業報告

平成30年1月1日から

平成30年6月30日まで



日本精蠟株式会社

証券コード：5010

# 会 社 概 要

商 号 日本精蠟株式会社  
(NIPPON SEIRO CO., LTD.)

創 立 昭和26年2月10日

資 本 金 11億2千万円

主 要 な  
営 業 品 目 パラフィンワックス、マイクロ  
クリスタリンワックス、合成ワ  
ックス等その他各種誘導品およ  
び重油

(徳山工場全景)



## 株主の皆様へ



株主の皆様におかれましては平素より社業の発展に格別のご高配を賜り有難く厚く御礼申し上げます。

ここに当社第92期中間事業報告（平成30年1月1日から平成30年6月30日まで）につきましてご報告申し上げます。

平成30年8月

日本精蠟株式会社

代表取締役社長 **安藤 司**

# 中間事業報告（平成30年1月1日から 平成30年6月30日まで）

## 1. 企業集団の現況に関する事項

### (1) 事業の経過およびその成果

#### ① 事業環境

当中間期(平成30年1月1日から平成30年6月30日まで)のわが国経済は、雇用や所得環境の改善傾向が続く中で、景気は穏やかな回復基調が続いております。しかしながら、貿易摩擦や地政学的リスクに伴う世界経済への影響懸念もあって、依然として先行き不透明な状況にあります。

当社原料コストに大きく影響する原油相場は、第1四半期の60ドル前半／バレル、当第2四半期には70ドル前半／バレルにまで上昇、また、円・ドル為替相場は年初の113円／ドルから110円／ドル前半にて推移いたしました。

#### ② 事業の経過および当期の経営方針等に基づく諸策の実施状況

当社は下記の当期経営方針、実行計画”チャレンジ90”および本年企業理念の中で設定しました品質方針に基づき、ワックス専業メーカーとしてグローバルニッチトップ企業を目指すべく、また構造改革すべく、種々の課題に正面から取り組んでおります。

#### (経営方針)

#### 1) Nippon Seiro(Thailand)Co., Ltd. の黒字化、ゴム老防分野での販売強化

既存および新規のお客様より、徳山工場同様の評価・承認を受けており、漸く当社タイ工場としての役割を担いつつあり、当期での黒字化を目指しております。

#### 2) 分子蒸留事業再計画、Action plan、販売促進

事業別での営業強化を行いながら、既存事業の拡大をベースに、新規開発案件の検討を継続しております。取巻く環境の変化、あるいは需給の変化をWatch、予想しながら方向性を見出すべく取り組んでおります。

#### 3) 徳山工場におけるWax取得率アップへのこだわり（＝重油減継続）

重油需要の大幅減退、不採算性の拡大の下、Wax取得率アップに向け新たなチャレンジに取り組んでいる最中であり、課題克服に向け継続的な取り組みを行います。

- 4) 古い建屋、設備の効率的な運用への方向付け  
現状、課題、取組むべき案件を明確化し、新たな方向付けを行うべく、役職員が状況認識を共有し一丸となって取組んでまいります。
- 5) 経常利益、Wax売上高の10%目標構想へのアプローチプラン策定  
チャレンジ90の実行計画を確実に進めることで、体質改善・強化を行い、本目標構想への基盤づくりに取組んでまいります。

(実行計画チャレンジ90（平成30年度～平成31年度）への取組み)

(位置づけ)

2019年が創業90年にあたり、2018-2019年の2年間は、次の10年、2029年の創業100年に向けての構造改革、基盤強化の時期と位置付けております。

(目的)

重油市況変動の影響を最小限化し、ワックス専門メーカーとして、技術力・現場力を強化し、規模ではなく、質の充実を図ることを目的といたします。

(実行計画)

1. タイヤ用途向けワックスにおけるトップメーカーとなるために、技術力・現場力を強化し、日本、タイからの供給体制および誇れる製品設計、品質の確立を行います。
2. 徳山工場、つくば事業所2拠点での分子蒸留設備の効率的な運用による当社ならではの製品供給の実現をいたします。加えて、グローバル化を視野に入れた更なる拡大を計画します。
3. 徳山工場の設備等のReview、Scrap&Buildによる効率的なワックス製造設備への転換を進めます。
4. 個人力、現場力強化に向けた教育機会の付与、教育ができる管理職とするための強化を行います。

### ③ 当中間期事業概況と成果

主力のワックス販売では国内販売が堅調に推移し、販売数量では前年同期に比較し180トン増の18,256トン、販売高では156百万円増の5,945百万円の実績、輸出版売は米国向け液状輸出の減販により販売数量では前年同期に比較して2,705トン減の19,298トン、販売高で301百万円減の3,463百万円の実績、重油販売は販売数量で22,396キロリットル増の91,962キロリットル、販売高では1,689百万円増の4,628百万円の実績となり、総売上高はその他商品を含めて1,545百万円増の14,113百万円となりました。

しかしながら、利益面では、原料等コストの上昇を製品価格改定にてカバーできていないこと、及び徳山工場の新分子蒸留設備導入及び既設設備の老朽化に伴う設備コストアップの影響により当中間期は前年同期に比較して、営業利益では480百万円減の274百万円、経常利益は390百万円減の245百万円、親会社株主に帰属する中間純利益は213百万円減の165百万円となりました。

当中間期における中間配当は当初発表どおり1株につき5円といたしました。

### ④ 当中間期事業概況のまとめ

生産および販売の状況は以下のとおりです。

#### <生産>

	前 中 間 期	当 中 間 期	増 減
ワックス (t)	38,988	36,203	△2,785
重油 (kl)	77,672	90,347	12,674

(注) 当社グループの生産高であります。なお当社(個別)の生産高は、前中間期においてはワックス35,516t、重油77,672kl、当中間期においてはワックス32,510t、重油90,347klであります。

#### <販売>

	前中間連結期		当中間連結期		増 減	
	数 量	金 額	数 量	金 額	数 量	金 額
ワックス 国内	18,076	5,788	18,256	5,945	180	156
輸出	22,003	3,764	19,298	3,463	△2,705	△301
合計	40,079	9,553	37,555	9,408	△2,524	△144
重油	69,565	2,939	91,962	4,628	22,396	1,689
その他仕入商品	75		75		△0	

(注) 1. 当社グループの販売高であります。  
 2. 国内販売には輸入合成ワックスを含んでおります。  
 3. ワックス数量単位はton、重油数量単位はkl、金額は百万円単位で記載しております。

## (2) 設備投資の状況

当中間期に実施した設備投資の総額は482百万円であり、内訳は、徳山工場における既存設備全般の更新および改修工事等473百万円、つくば事業所関係8百万円、タイ工場関係1百万円であります。

## (3) 資金調達の状況

設備資金および運転資金につきましては、自己資金および金融機関よりの借入金をもって充当し、増資、社債発行などによる資金調達は行っておりません。

## (4) 財産および損益の状況

区 分	平成27年度 第89期	平成28年度 第90期	平成29年度 第91期	平成30年度 (当連結会計年度) 第92期
売上高(百万円) 中間 年間	15,743 29,250	11,516 23,318	12,568 26,649	14,113
経常利益 (△は経常 損失) (百万円) 中間 年間	△594 △729	△112 580	636 1,152	245
親会社株主に帰属 する当期純利益 (△は純損失) (百万円) 中間 年間	△402 △559	△150 243	379 673	165
1株当たり純利益(△は純損失) 中間 年間	△22円45銭 △31円21銭	△8円41銭 13円57銭	21円18銭 37円70銭	9円28銭
総資産(百万円) 中間 年間	31,929 31,070	29,080 29,083	29,095 30,725	29,715
純資産(百万円) 中間 年間	10,595 10,274	10,078 10,436	10,745 10,982	11,023

## (5) 重要な親会社および子会社の状況

### ① 重要な親会社の状況

該当事項はありません。

### ② 重要な子会社の状況

会社名	資本金	出資比率	主要な事業内容
テクノワックス(株)	百万円 50	% 100	各種ワックスの製造
Nippon Seiro(Thailand)Co., Ltd.	百万タイバーツ 315	% 100	各種ワックスの製造販売

## (6) 対処すべき課題

今後の見通しにつきましては、国内景気に回復の動きが見られるものの、貿易摩擦や地政学的リスクに伴う世界経済への影響懸念もあり、原油相場の動向や為替相場の先行き等、引続き不透明な状況が続くものと予想されます。

このような環境の中で、平成30年度の経営方針および品質方針ならびに創業90年の節目であります2019年を見据えました実行計画チャレンジ90の基本方針に基づき、Nippon Seiro(Thailand)Co., Ltd. および分子蒸留設備の採算化、ワックスの取得率アップ、徳山工場の老朽化設備の効率運用および人材育成等を柱とする経営諸課題に引続き取組むとともに、更なる業績向上に全力を傾注してゆく所存です。

株主の皆様におかれましては、諸事情ご賢察のうえ引続き変わらぬご支援とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。



## (7) 主要な事業内容

当企業集団はワックスの専門メーカーとして、石油ワックス、各種ワックスおよび重油の製造・加工・販売を主たる事業としております。

### (主要な営業品目)

パラフィンワックス、マイクロクリスタリンワックス、合成ワックス等  
その他各種誘導品および重油

## (8) 主要な営業所および工場

### ① 当社

本 社	東京都中央区
徳山工場	山口県周南市
大阪支店	大阪府大阪市北区
開発研究センター (分室)	山口県周南市 茨城県稲敷郡阿見町
つくば事業所	茨城県稲敷郡阿見町

### ② 主要な子会社

テクノワックス(株)	茨城県稲敷郡阿見町
Nippon Seiro(Thailand)Co., Ltd.	
本社・工場	タイ王国チョンブリ県

## (9) 従業員の状況（平成30年6月30日現在）

### ① 企業集団の使用人の状況

従 業 員 数	前連結会計年度末比増減
301名	10名増

### ② 当社の使用人の状況

従 業 員 数	前期末比増減	平均年齢	平均勤続年数
251名	8名増	39歳1ヶ月	16年6ヶ月

(注) 従業員数は、臨時社員と派遣社員および当社から他社への出向者を除き、他社から当社への出向者を含む就業人数であります。

(10) 主要な借入先および借入額（平成30年6月30日現在）

借入先	借入残額
	百万円
株式会社みずほ銀行	2,702
株式会社三菱UFJ銀行	2,218
株式会社広島銀行	2,093
株式会社山口銀行	1,866
株式会社西京銀行	1,371
株式会社商工組合中央金庫	500

(11) その他企業集団の現況に関する重要な事項

該当事項はありません。

## 2. 会社の株式に関する事項（平成30年6月30日現在）

### (1) 株式数

- ① 発行可能株式総数 89,600,000株
- ② 発行済株式総数 22,400,000株  
(自己株式4,547,842株を含む)
- ③ 当期中に増加した株式数 該当事項はありません。

### (2) 株主数 3,444名

### (3) 大株主の状況（上位10名）

株 主 名	持株数（千株）	持株比率（％）
伊藤忠商事株式会社	1,927	10.79
三菱商事株式会社	1,120	6.27
神田成二	670	3.75
安藤パラケミー株式会社	551	3.08
三菱UFJ信託銀行株式会社	550	3.08
株式会社西京銀行	513	2.87
山九株式会社	450	2.52
清水潔	384	2.15
中京油脂株式会社	300	1.68
徳機株式会社	300	1.68

(注) 1. 千株未満は切り捨てて表示しております。

2. 当社は、自己株式4,547,842株を保有しておりますが、上記大株主から除いております。また、持株比率は、自己株式を控除して計算しております。

### (4) その他株式に関する重要な事項

該当事項はありません。

## 3. 会社の新株予約権等に関する事項（平成30年6月30日現在）

該当事項はありません。

## 4. 会社役員に関する事項

### (1) 取締役および監査役の状況（平成30年6月30日現在）

氏名	地位および担当	重要な兼職の状況
* 安藤 司	代表取締役社長 社長執行役員 需給部・開発研究センター担当	
* 福間 芳彦	取締役 常務執行役員 製造部・技術工務部・つくば事業所・テクノワックス㈱・周和産業㈱管掌 徳山工場長兼技術工務部長兼周和産業㈱代表取締役社長	
* 常慶 直宏	取締役 常務執行役員 営業部・業務部・Nippon Seiro(Thailand)Co.,Ltd.管掌	
* 土屋 直紀	取締役 執行役員 総務部・経理部・企画管理部管掌 総務部長兼経理部長	
田澤 繁	社外取締役	弁護士 ポリプラスチックス㈱ 社外監査役
細田 八朗	常勤監査役	
吉田 高志	社外監査役	公認会計士 ㈱コスモスイニシア 社外取締役 三井住友トラスト・ホールディングス㈱ 社外取締役
真崎 宇弘	社外監査役	

- (注) 1. 当社は執行役員制度を導入しており、\*印の各氏は執行役員を兼務しております。
2. 取締役の田澤 繁氏は、会社法第2条第15号に定める社外取締役であります。また、当社は同氏を東京証券取引所の定めに基づく独立役員として届出ております。
3. 当社と田澤 繁氏がパートナーとして兼職する柏木・田澤法律事務所との間に重要な取引関係はありません。
4. 監査役吉田高志および真崎宇弘の両氏は、会社法第2条第16号に定める社外監査役であります。
5. 監査役細田八朗氏は監査役就任まで当社取締役専務執行役員として当社の経理部門を管掌する職にあり、また監査役吉田高志氏は、公認会計士として財務および会計に関する相当程度の知見を有しております。監査役真崎宇弘氏は、エネルギー業界の経営者としての経歴により、石油事業に関連する企業経営に精通しております。

**(2) 取締役および監査役の報酬等の額**

定時株主総会決議に基づく取締役の年額報酬は270百万円以内、監査役の年額報酬は36百万円以内であります。

**(3) 当中間期中の取締役および監査役の異動**

平成30年3月29日開催の定時株主総会終結の時をもって取締役 井上 寛氏は任期満了により退任いたしました。

**(4) 前各号に掲げるもののほか役員に関する重要な事項**

該当事項はありません。

## 5. 会計監査人の状況

### (1) 会計監査人の名称

EY新日本有限責任監査法人

### (2) 連結子会社の監査に関する事項

当社の重要な子会社である、テクノワックス(株)はEY新日本有限責任監査法人による監査を受けており、またNippon Seiro(Thailand)Co., Ltd. は当社の会計監査人以外の公認会計士または監査法人（外国におけるこれらの資格に相当する資格を有する者を含む。）による監査を受けております。

### (3) 会計監査人の解任または不再任の決定の方針

監査役会は、会計監査人の職務の執行に支障がある場合等、その必要があると判断した場合は、株主総会に提出する会計監査人の解任または不再任に関する議案の内容を決定いたします。

監査役会は、会計監査人が会社法第340条第1項各号に定める項目に該当すると認められる場合には、監査役全員の同意に基づき会計監査人を解任いたします。この場合、監査役会が選定した監査役は、解任後最初に招集される株主総会におきまして、会計監査人を解任した旨と解任理由を報告いたします。

# 中間連結貸借対照表

平成30年6月30日現在

資 産 の 部		負 債 の 部	
	百万円		百万円
流 動 資 産	13,344	流 動 負 債	13,278
現金及び預金	1,890	支払手形及び買掛金	962
受取手形及び売掛金	3,417	短期借入金	9,910
商品及び製品	4,509	未払法人税等	96
原材料及び貯蔵品	3,142	賞与引当金	50
その他	388	修繕引当金	11
貸倒引当金	△4	その他	2,247
固 定 資 産	16,370	固 定 負 債	5,414
有形固定資産	15,547	長期借入金	1,928
土地	9,541	再評価に係る繰延税金負債	2,629
その他	6,005	退職給付に係る負債	131
無形固定資産	109	その他	725
投資その他の資産	713	負債合計	18,692
資産合計	29,715	純 資 産 の 部	
		株 主 資 本	4,996
		資 本 金	1,120
		資 本 剰 余 金	25
		利 益 剰 余 金	5,009
		自 己 株 式	△1,158
		その他の包括利益累計額	6,027
		その他有価証券評価差額金	109
		土地再評価差額金	5,991
		為替換算調整勘定	△74
		純 資 産 合 計	11,023
		負債純資産合計	29,715

(注) 記載金額は百万円未満を切捨てて表示しております。

# 中間連結損益計算書

平成30年1月1日から  
平成30年6月30日まで

	百万円	
売 上 高		14,113
売 上 原 価		12,610
売 上 総 利 益		1,502
販売費及び一般管理費		1,228
営 業 利 益		274
営 業 外 収 益		
受 取 利 息	0	
受 取 配 当 金	10	
受 取 保 険 金	33	
受 取 賃 貸 料	8	
そ の 他	26	79
営 業 外 費 用		
支 払 利 息	89	
為 替 差 損	4	
そ の 他	14	108
経 常 利 益		245
特 別 利 益		
固 定 資 産 売 却 益	5	5
特 別 損 失		
固 定 資 産 除 却 損	0	0
税金等調整前中間純利益		251
法 人 税 等		85
中 間 純 利 益		165
非支配株主に帰属する 中間純利益		-
親会社株主に帰属する 中間純利益		165

(注) 記載金額は百万円未満を切捨てて表示しております。



# 株主メモ

事業年度 1月1日～12月31日  
期末配当金受領株主確定日 12月31日  
中間配当金受領株主確定日 6月30日  
定時株主総会 毎年3月  
株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社  
特別口座の口座管理機関 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部  
同 連絡先 東京都府中市日鋼町1-1 電話 0120-232-711 (通話料無料)  
郵送先 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号  
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部

上場証券取引所 東京証券取引所  
公告の方法 電子公告により行う。  
公告掲載URL <http://www.seiro.co.jp>  
(ただし、電子公告によることができない事故、  
その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本  
経済新聞に掲載いたします。)

## (ご注意)

1. 株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
2. 特別口座に登録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。
3. 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

~~~~~

本 社 〒104-0031 東京都中央区京橋二丁目5番18号  
電話 (03) 3538-3061 (代表)

徳 山 工 場 〒745-0803 山口県周南市大字大島850番地  
電話 (0834) 84-0334 (代表)

大 阪 支 店 〒530-0047 大阪府大阪市北区西天満二丁目6番8号  
電話 (06) 6365-5685 (代表)

開発研究センター 〒745-0803 山口県周南市大字大島850番地  
電話 (0834) 84-0339 (代表)

(分 室) 〒300-1155 茨城県稲敷郡阿見町大字吉原3580-2  
電話 (029) 829-5050 (代表)

つ く ば 事 業 所 〒300-1155 茨城県稲敷郡阿見町大字吉原3580-2  
電話 (029) 829-5050 (代表)

~~~~~

当社ホームページアドレス  
<http://www.seiro.co.jp>

## 【株式に関するお手続きについて】

### ○特別口座に記録された株式

お手続き、ご照会等の内容	お問合せ先	
<ul style="list-style-type: none"> <li>○特別口座から一般口座への振替請求</li> <li>○単元未満株式の買取請求</li> <li>○住所・氏名等のご変更</li> <li>○特別口座の残高照会</li> <li>○配当金の受領方法の指定（*）</li> </ul>	特別口座の 口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 TEL 0120-232-711（通話料無料）
<ul style="list-style-type: none"> <li>○郵送物等の発送と返戻に関するご照会</li> <li>○支払期間経過後の配当金に関するご照会</li> <li>○株式事務に関する一般的なお問合せ</li> </ul>	株主名簿管理人	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">                         [手続き書類のご請求方法]                          ○インターネットによるダウンロード  <a href="https://www.tr.mufg.jp/daikou/">https://www.tr.mufg.jp/daikou/</a> </div>

（\*） 特別口座に記録された株式をご所有の株主様は配当金の受領方法として株式数比例配分方式はお選びいただけません。

### ○証券会社等の口座に記録された株式

お手続き、ご照会等の内容	お問合せ先	
<ul style="list-style-type: none"> <li>○郵送物等の発送と返戻に関するご照会</li> <li>○支払期間経過後の配当金に関するご照会</li> <li>○株式事務に関する一般的なお問合せ</li> </ul>	株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 TEL 0120-232-711（通話料無料）
<ul style="list-style-type: none"> <li>○上記以外のお手続き、ご照会等</li> </ul>	口座を開設されている証券会社等にお問合せください。	

